

テレビチューナー ユニット

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

本機は、インテリジェントアクセサリシュー付きの液晶ハンディカム専用のテレビチューナーユニットです。ただし、DCR-TRV9、DCR-TRV900他、または映像/音声入力端子がないハンディカムには使用できません。

TGV-D8

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



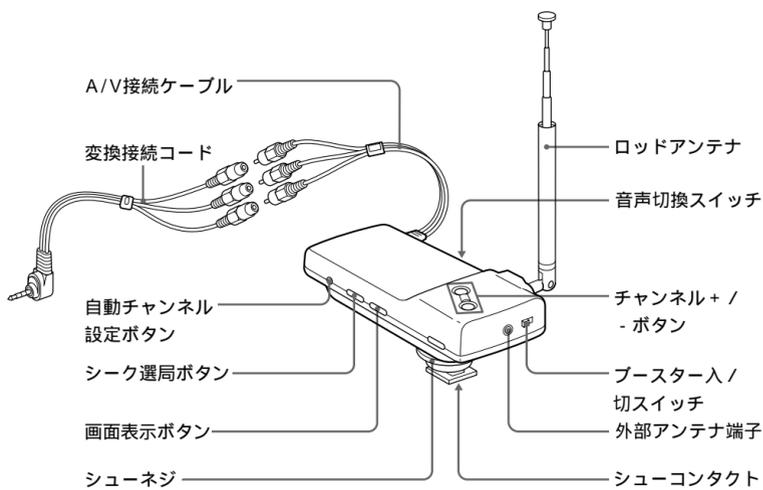
純正マーク

この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表わすマークです。ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

Intelligent Accessory Shoe

このマークの商品は、ソニー(株)のビデオ機器の“インテリジェントアクセサリシュー”システムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリを組み合わせることにより、目的に合わせた効果的な撮影が簡単に行えます。

各部のなまえ

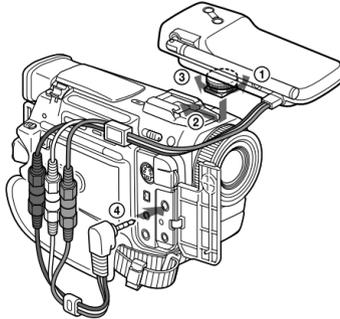


取り付ける

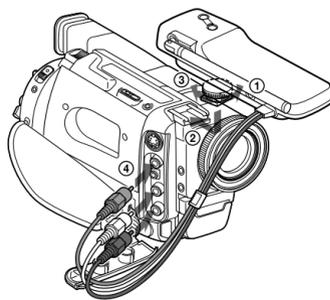
取り付ける前に

充電したバッテリーをハンディカムに取り付けておきます。ハンディカムのバッテリーで本機も動きます。録画するときはハンディカムにカセットを入れてください。

映像/音声端子が一つのもの



映像/音声端子が分れているもの

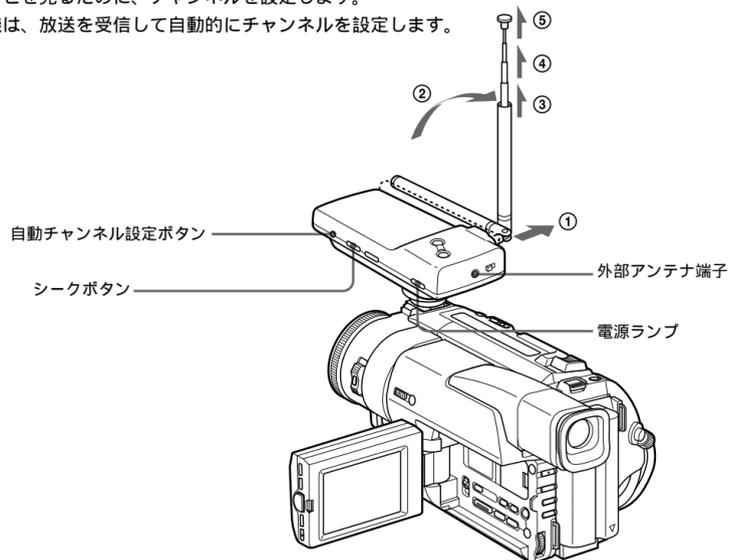


ケーブルのプラグをコードの同じ色の端子につなぐ

- 1 テレビチューナーユニットのシューネジをゆるめる。
- 2 本機をハンディカムに押し付けながら、シューコンタクトをハンディカムのアクセサリシューに差し込む。
- 3 シューネジを締める。
- 4 A/V接続ケーブルのプラグをつなぐ。
ハンディカムの映像/音声端子が分れているものには同じ色の端子につないでください。ハンディカムの映像/音声端子が一つになっているものには、映像/音声端子につないでください。

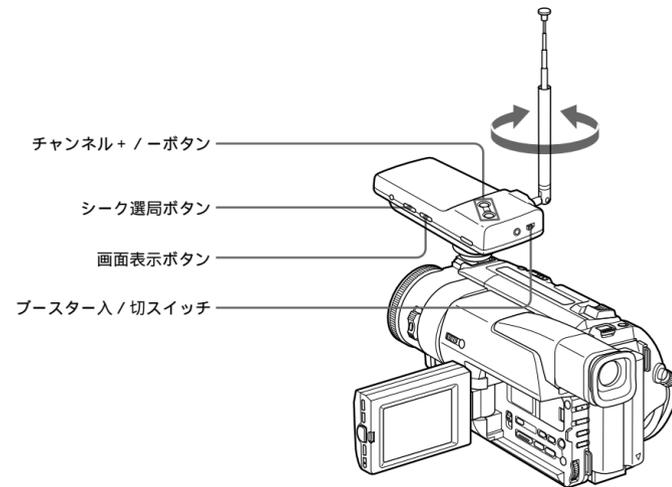
チャンネルを自動設定する

テレビを見るために、チャンネルを設定します。
本機は、放送を受信して自動的にチャンネルを設定します。



- 1 ハンディカムの電源スイッチを「ビデオ」にする。
本機の電源ランプが点灯します。
- 2 ロッドアンテナを引き出してから立てて、いっぱいにのぼす。
外部アンテナをつないだ場合は、ロッドアンテナを立てる必要はありません。
- 3 自動チャンネル設定ボタンを押す。
受信できるチャンネルが自動的に設定されます。
チャンネルが設定されると(約2分後)画面に設定されたチャンネルが表示されます。
設定されたチャンネルは、記憶されますので、テレビを見る度に設定し直す必要はありません。

テレビを見る



- 1 ハンディカムの電源スイッチを「ビデオ」にする。
本機の電源ランプが点灯します。
- 2 チャンネル+/-ボタンで見たいチャンネルを選ぶ。
- 3 ロッドアンテナの角度と方向を調節する。
外部アンテナをつないだ場合は、ロッドアンテナを調節する必要はありません。
- 4 ハンディカムで音量や明るさを調節する。
くわしくは、ハンディカムの取扱説明書をご覧ください。

見たい番組のチャンネルがわからないときは「チャンネルを順番に選局する」をご覧ください。

画像が見つからないときはブースター入/切スイッチを「切」にします。通常は、「入」にしてお使いください。

ラストチャンネルメモリー機能について
本機は、最後に見ていたチャンネルを記憶します。次に電源を入れたときは、前に見ていたチャンネルを自動的に受信します。

チャンネルを表示する
画面表示ボタンを押します。現在のチャンネルが表示されます。

ご注意
表示されるチャンネル番号は、実際のチャンネル番号と異なることがあります。

チャンネルを順番に選局する - シーク選局 -

シーク選局を使うと、受信できるチャンネルが順番に選局されます。見たい番組のチャンネルがわからないときや、車などで移動しているときに便利です。

- 1 シーク選局ボタンを押して、画面に「シーク」を表示させる。

メイン
シーク 12

- 2 チャンネル+/-ボタンを押す。
+または-ボタンを1回押すごとに、受信できるチャンネルを探し、自動的に止まります。

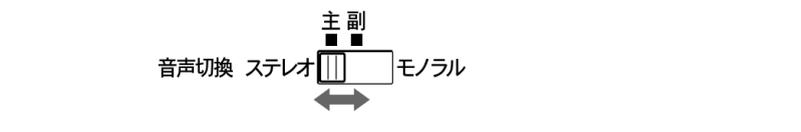
シーク選局を解除する
シーク選局ボタンを押して、「シーク」表示を消します。

ご注意
ハンディカムの電源を切ると、シーク選局は解除されます。

ステレオ放送や二重音声放送を見る

ステレオ放送を見る

音声切換スイッチを「ステレオ（主または副）」にする。



雑音が多くて聞きにくいときは、音声切換スイッチを「モノラル」にします。音声はモノラルになりますが、雑音は軽減されます。

ご注意
ハンディカムがモノラルの場合は、音声切換スイッチを「ステレオ」にしても聞こえる音声はモノラルです。

二重音声放送を見る

二重音声放送を受信すると、そのときに選ばれている音声が「メイン」または「サブ」と表示されます。表示は数秒後に消えます。

音声切換スイッチで聞きたい音声を選ぶ。
主音声を聞くときは、「主」にします。副音声を聞くときは、「副」にします。

二重音声放送を受信しているときに、音声切換スイッチを「モノラル」にすると主音声がかかります。画面に表示はできません。

テレビ番組を録画する

ハンディカムの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1　ハンディカムの電源スイッチを「ビデオ」にする。

2　チャンネル＋／－ボタンで、録画したいチャンネルを選ぶ。

3　録画ボタンを押す。
録画が始まります。録画停止などの操作は、ハンディカムで行います。

ステレオ放送を録画する

音声切換スイッチを「ステレオ（主または副）」にする。

ステレオ放送はステレオで、モノラル放送はモノラルで録画します。音声切換スイッチを「モノラル」にすると、ステレオ放送もモノラルで録画します。

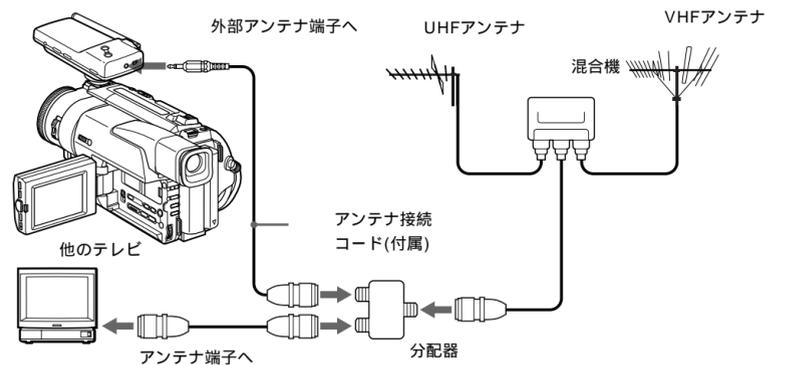
二重音声放送を録画する

音声切換スイッチを「主」または「副」にする。

選んだ音声を録画します。「モノラル」にすると、主音声だけを録画します。

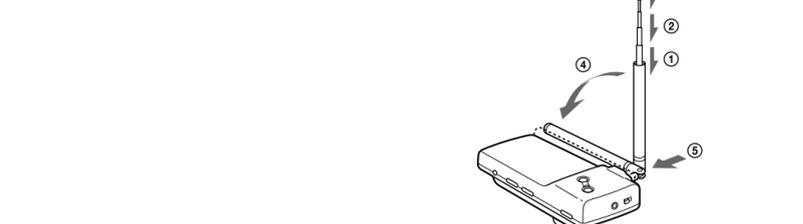
屋外アンテナにつなぐ

室内でお使いのときに、ロッドアンテナを調節しても満足のいく画像や音声にならないときや、テレビ番組を録画するときは、屋外アンテナを接続することをおすすめします。アンテナにはいろいろな種類があり、取り付けには多少技術が必要ですから、なるべくお買い上げ店にご依頼ください。



使い終わったら

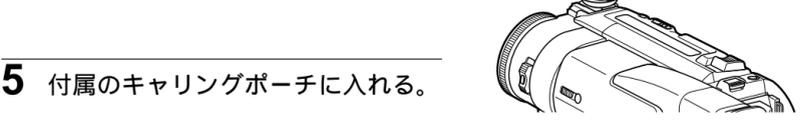
1　ロッドアンテナの太い部分から順番に縮めてたおし、元に戻す。



2　A/V接続ケーブルをはずす。

3　シューネジをゆるめる。

4　本機をハンディカムに押し付けながら、アクセサリシューからシューコンタクトを引き抜く。



5　付属のキャリングポーチに入れる。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前にもう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

テレビ番組が映らない
ハンディカムの電源スイッチが「カメラ」になっている。 「ビデオ」にする。
ハンディカムの画面表示がビデオ出力／パネルになっている。 メニューで「パネル」にする。

画像がきれいに映らない
テレビ電波が弱い。 ロッドアンテナを調節するか屋外アンテナをつなぐ。
テレビ塔の近くなどで画像が乱れる。 ブースター入／切スイッチを「切」にする。

画像が、二重三重になる
山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、二重像を生ずることがあります。 アンテナの位置、方向、高さを調節する。

はん点や点模様がはしる
ヘッドライヤー、車、バイクなどからのノイズが原因。 原因となっているものを遠ざける。

チャンネルを変えられない
録画中は、チャンネルを変えられません。 変えるときは、まず録画を停止または一時停止してから、チャンネルを変える。

画面表示ボタンを押しても、チャンネルが表示されない
録画中はチャンネルを表示できません。

本機が動作しない
ハンディカムとの接続がしっかりされていない。 きちんと接続する。

主な仕様

受信チャンネル	VHF:1～12チャンネル <p>UHF:13～62チャンネル</p>
アンテナ入力端子	VHF/UHF: 75　ミニジャック
電源電圧	DC7.2V
消費電力	約1.4W
動作温度	0～40
保存温度	−20～60
最大外形寸法	約130×55×70mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約190g
付属品	アンテナ接続コード（1本）、変換接続コード（1本）、キャリングポーチ（1個）、保証書（1部）、サービス窓口・ご相談窓口のご案内（1部）、取扱説明書（1部）、安全のために（1部）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

使用上のご注意

ハンディカムに取り付けて持ち運ぶときは、ハンディカムを持ってください。ハンディカムに取り付けていないときは、付属のキャリングポーチに入れておいてください。ロッドアンテナを調節するときは、本機に手を添えてください。ぶつけたり、落としたりしないでください。無理な力が加わると、故障の原因になります。布などに包んで使用しないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因になります。次のようなところで使用したり、置いたりしないでください。

- － 湿気の多いところ
- － 雨などの水滴のかかるところ
- － ほこりの多いところ
- － 激しい振動のあるところ
- － AMラジオやチューナーの近く（雑音が発生するところがあります。）
- － 強い磁気が発生するところ
- － 直射日光のあたる場所で窓を閉めきった車の中
- － 極端に寒いところ

ロッドアンテナを使って電波を受信するとき、場所によっては映像が乱れる場合があります。海辺で使用するときは、海水や砂がかからないようにご注意ください。内部に海水や砂が入ると故障の原因になり、修理できなくなることがあります。内部に異物が入ったときは、ただちに使用を止め、ソニーのサービスセンターにご連絡ください。ハンディカムに取り付けた状態でカセットが取り出せないときは、本機を取りはずしてからカセットを取り出してください。

シューコンタクトについて
本機の電源は、ハンディカムからシューコンタクトを経由して供給されますので、シューコンタクトは常に清潔にしておいてください。シューコンタクトに直接触れないでください。ショートの原因になりますので、金属に触れないようにご注意ください。

お手入れ
汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼって、汚れを拭き取ってください。シンナーや、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はテレビチューナーユニットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店がサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名	TGV-D8	
故障の状況	できるだけ詳しく	
購入年月日		
	本機を修理にお持ちになるときは、接続しているハンディカムもあわせてお持ちください。	

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	
●ナビダイヤル……………  0570-00-3311	受付時間： <p>月～金 9:00～20:00</p> <p>土・日・祝日 9:00～17:00</p>
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
●携帯電話・PHSでのご利用は……03-5448-3311	
●Fax……………0466-31-2595	